

人を対象とした研究倫理ガイドライン・チェックシート

法政大学大学院国際文化研究科・国際文化専攻倫理委員会

(公開第1版：2020.07.14)

法政大学大学院国際文化研究科・国際文化専攻倫理委員会の略称は法政国際文化倫理委員会とし、以下この名称を使用する。また、本チェックシートは、研究倫理審査申請時から研究・調査終了時以降まで、常に手元に置き、自身の研究・調査の進捗状況に合わせ、その時点における適切な倫理的配慮が行われているかをチェックするものである。

【同意・同意撤回・権利の告知について】

研究・調査の協力に関して、同意書を提出してもらいますか。

質問紙調査の場合

質問紙の1頁(ページ)目に同意確認の文言を入れましたか。

そこには「この調査が任意であること」が書かれていますか。

そこには「同意はいつでも撤回できる」と書かれていますか。

そこには「同意しなくても不利益は受けない」と書かれていますか。

そこには所要時間・心身への負担の程度が書かれていますか。

同意書に署名の欄がありますか。

上記のことを口頭で説明しますか。

記名式調査の場合(上記の項目に加えて)

そこには個人情報の取り扱いについて書かれていますか。

そこには使用済みデータの処分方法について書かれていますか。

上記のことを口頭で説明しますか。

【心身の負担・危険について】

質問紙を用いた研究・調査の場合、協力者にとって必要最低限の負担ですむよう質問紙の構成に配慮しましたか。

インタビュー調査を実施する場合、協力者の精神的・身体的状態を考慮し、インタビュー時間、インタビュー内容に細心の配慮を行う準備ができていますか。

研究・調査に関連して実験などを行う場合、必要最低限の身体的・心理的負担ですむよう配慮し、手続きを決定しましたか。

【プライバシーの保護、資料およびローデータの管理、個人情報保護について】

論文発表、学会発表の際のプライバシーの保護について、十分な配慮がされていますか(協力者が個人の特定を希望しない場合等)。

得られたデータの保管場所、保管方法を決めていますか。

- データのパソコンへの入力，分析方法について決めていますか。
- 研究・調査協力者の個人情報ができる限りパソコンに入力せずにすむようなデータ形式を考えていますか（協力者が個人の特定を希望しない場合等）。
- 研究・調査内容から個人が特定できないよう十分に配慮されていますか（協力者が個人の特定を希望しない場合等）。
- 研究・調査のためにビデオや写真を撮影する場合，被写体となる人々のプライバシーや肖像権について十分に配慮されていますか（協力者が個人の特定を希望しない場合等）。

【結果のフィードバックについて】

- 得られた結果について，フィードバックの方法をすでに決めていますか。
- 研究・調査の協力者にフィードバックの方法を伝えますか。

【研究・調査の実施について】

- 指導教員から研究・調査の許可を得ていますか。
- 法政国際文化倫理委員会に研究計画書を提出し，承認を得ましたか。
- 研究・調査開始後，主指導教員，副指導教員に進捗状況を密に報告しますか。

【論文について】

- 論文を作成する際，剽窃は決してしてはならないことを理解していますか。
- 論文に他者の著作，論文，記事等を引用する場合には，引用の範囲と出典を明示しなければならないことを理解していますか。
- 論文には，研究・調査の手続きを明瞭かつ詳細に記載しなければならないことを理解していますか。
- 論文の作成において，データの改ざん，ねつ造，恣意的なデータの一部削除はしてはならないことを理解していますか。